

高崎観光協会 会報

縁起のいいまち 高崎

春号
Spring
VOL.138

2017

駅を降りて最初に出会うまち

Montres
高崎モンレー





高崎のファッションを発信〈高崎モントレー〉

駅を降りて最初に出会うまち

関東と信越を結ぶ中心都市として、多くの人々が集り、ビジネスが活発に展開されるまち。映画や音楽など都市文化を発信し、ファッションやグルメが集まるまち。北関東最大の商業とカルチャーの集積が高崎の魅力を大きく広げています。そして、感度の高いアパレルブランドや話題の飲食を楽しむランドマークになっているのが群馬の玄関に直結する駅ビル「高崎モントレー」です。

昭和57年（1982）4月に、上越新幹線の開業に伴いオープンした駅ビル「高崎モントレー」。以来、駅を核としたまちづくりを牽引してきた。



駅舎に商業施設をプラス 駅ビル「モントレー」の誕生



高崎駅の開業は、明治17年（1884）。当時は機関車が黒い煙をはきながら、高崎―上野間を4時間かけて走った。輸出のための上州絹を運び富国強兵の一翼を担い、文明開化を謳歌した人々を交流させた。陸軍歩兵第十五連隊が駐屯すると、多くの軍馬や兵器を運んだ。その後、鉄道の電化や複合化が進み、高速で多量の輸送を実現しながら高度経済成長の中を疾走した。

そして迎えた昭和57年4月14日。

11月の上越新幹線開業より一足早く高崎駅ビル「高崎モントレー」がオープン。当時の地元紙には、華々

しい開業を伝える活字が踊った。

「高速交通時代における群馬県の表玄関」「駅周辺の都市再開発事業や総合的な交通網の整備にはずみ」と、観光、産業などあらゆる面で飛躍のきっかけと期待が寄せられた。

「モントレー」はスペイン語の「mont（モン）＝山」と「tres（トレス＝三）」を合わせた造語。上毛三山を表した名称で、地元への想いが込められた。当時の総出店数は128店（内4割が県内店舗）。1階は和洋菓子、総菜、生鮮食品などを揃え、2階より上はファッション・雑貨・カフェ&レストラン・美容・理容・クリニック・金融機関など、様々なサービスも充実。6階には高崎ターミナルホテル（現・メトロポリタン高崎）のロビーや宴会場を配し、7階から10階が客室フロアとなっており、まさに一つの街を形成した。

鉄道を身近に感じられるスポット 乗降客の利便性を追求

今年の春で、高崎モントレーは開業35周年を迎える。週末になると観光列車を牽引する懐かしい機関車「D51498」と「C6120」が発する汽笛が駅ビルの中にも響き渡る。その誇らしそうな響きは、明

治時代から機関庫が設けられた「機関車の街」だったことを人々の心に刻もうとしているようだ。効果音などではなく、本物の汽笛というのがうれしいところ。

南自由通路の窓からは、高崎線・吾妻線・両毛線・上越線・八高線のホームが並ぶ風景が見え、モントレー5階のレストラン街にある信州そば処「そじ坊」は、唯一電車が見える飲食店として知る人ぞ知る存在。小さな子供連れや鉄道好きなどが好んで窓側の席を利用するという。

駅ビルならではのもう一つの特徴

として、電車の待ち時間などに利用できるサービスの充実がある。理容・美容、ネイル、エステ、ボディケアなどのサービスがワンフロアで提供され、価格も手頃で利用しやすい。身だしなみを整えたり、体の疲れやストレスを和らげるボディケアでリフレッシュしたり、ワンストップでヘアメイク、ネイルを並行して行うサービスもあり、短時間でビジネス仕様からパーティー仕様に美しく変身することもできる。



モントレー（三つの山）の名称の由来となる上毛三山をはじめ、遠くの山並みが視界に広がる8階の屋上庭園。5月から「朝ヨガ教室」（5月～9月の第2・4水曜午前7時30分から30分程）が始まる。広がる空を身近に感じながら心身ともにリフレッシュして、一日を始められると好んだ。また、ゴールデンウィーク明けには、ピアガーデンがオープンする。

Montres

高崎モントレー

高崎モントレー

高崎市八島町222 TEL: 027-324-0550

www.m-takasaki.com

■営業時間／1F～5F 10:00～20:30

5F レストラン 11:00～21:30

(店舗により異なる場合有り)



ちよつと上質なTAKASAKIを提案

ナショナルブランドのクオリティを地元浸透させる

駅コンコースから高崎モントレーのエリアに入ると、季節を先取りしたアパレルや雑貨の店舗が

並び、色とりどりのファッションアイテムが目飛び込みウキウキとした気分になる。

高崎モントレーでは、「ちよつと上質なTAKASAKIライフスタイル」をコンセプトに、「トレンド感と付加価値を高めるブランドを構築し、訪れる人々にショッピングの楽しさを提供する。

コンコースに面した注目度の高い場所にあるのは、夢のある色彩豊かなディスプレイがひと際目をひく「サマンサベガ&シュエットギヤラリー」(バッグ)。複合店としては全国で2番目の出店。大人のカジュアルスタイルに合う実用的なデザイン、かつトレンド感あふれるバッグが並ぶ。

他にも「ダイアナ」(シューズ&バッグ)、「チッタタック」(時計)、「ランダ」(シューズ)、「ブオーナ・ビータ」(雑貨)が、群馬県内初の出店先として高崎モントレーを選び、働く大人の女性やかわいいが大好きな女子高生たちのファッションニーズに答えてきた。

電車の時間を気にして足早に通る過ぎる時でも、トレンドの服や気になるバッグを横目で素早くチェックしておく、時間のある時にじつ

くり吟味して購入する。日常的に駅を利用する人なら、高崎モントレーならではのこんな効率的な買い物ができる。

女子高生はコスメが好き

電車通学が始まると、駅ビルはちよつと背伸びした高校生の社交場になる。休日はメイクしてお出かけ！という女子高生が珍しくなくなった今、4階南側のタリーズコーヒーの隣にあるコスメ雑貨店「シャーン・ド・エルブ」は、週末ともなると女子高生をはじめ若い女子たちで賑わう。

ここは、館内では珍しい高崎モントレーの直営店。店内にはドクターズスキンケア&ブランドメイク、化粧品雑貨のほか、香水やギフト雑貨がいっぱい。

「自分の体温や唇のペーハーにより、塗ったリップの色が変わる。保湿成分入りで色落ちしにくい。透明な中に花が入って見た目もかわいい」。そんなSNSでも話題のリップクリームが、POPの効果もあって売れ行き好調という。

店舗にはワクワクする感動とトレンドの躍動感があふれている。



● Bedford Market (ベッドフォードマーケット)
高崎モントレー 5F 電話：027-386-6363
■営業時間／11:00～21:30 (ラストオーダー 21:00)

地元ならではのオリジナリティを育む

●福ベーグル高崎モントレー店

豊富な定番品、月替わりや季節限定が魅力的

具材を生地に練り込むのではなく、包み込むことで、素材の味をひきたたせる。外は香ばしく中はしっとりとしたベーグルは、ベーグルの概念を覆す。常時25種以上が店頭並び、月替わりで出る新商品や季節限定品などもあって、何度でも足を運びたくなる。

ベーグルを作る様子が見えたり、焼き立ての香ばしい香りが漂ったり、対面販売だったりといった臨場感も魅力。



福ベーグル高崎モントレー店
高崎モントレー 1F 電話：027-329-6317
■営業時間／10:00～20:30 (売切れ次第終了)

●スパゲッティー専科はらっぱ 高崎モントレー店

ラーメン屋のような気軽なパスタ食堂

カウンター席が多く、女性一人でも気軽に味わえるスープパスタ。パスタ激戦区の高崎で「ラーメン屋のような気軽なパスタ食堂」をコンセプトに、独自性が光る店づくりを展開。

“接客第一”の徹底で、常連さんが5、6割という信頼される店舗。都内のある企業では、高崎に出張したら、ぜひ寄りたい店として社員の間に口コミで広がっているという。



スパゲッティー専科はらっぱ 駅ビル店
高崎モントレー 5F 電話：027-322-5455
■営業時間／11:00～21:30 (ラストオーダー 20:40)

高崎や周辺地域の有力店を誘致

5階のレストラン街に、昨年12月20日にオープンしたカフェ&レストラン『ベッドフォードマーケット』は、スパイスから配合して作る自家製の絶品カレーや、オーダーが入ってから焼き上げるふわふわのりコッタパンケーキ、ニューヨークスタイルのクリスマスピーピザなどが看板メニュー。オープン以来、女性客やカップル、女子高生で賑わう話題の店となっている。「テナントシヨップ」という形態は初めてですが、駅

ビル内は客足が安定しているというのが実感。また、集客を促すキャンペーンを企画し告知してもらっている。高崎モントレーさんの支援は有り難いです」と話す内山直哉店長。従来のレストラン街にはなかった仕事帰りの女性などが気軽にアルコールを楽しめるバーとしても期待がかかる。駅西口ロータリー周辺の夜景に都会的な気分を堪能できる。高崎モントレーは、高崎駅を中心としながらも、周辺地域に繁栄をもたらすような総合的な街づくりをテーマに、様々な取り組みを

行なっている。集客力の高いテナントシヨップの誘致により賑わいを創出することもそのひとつ。なかでも人気と実力を兼ね備えた高崎発の行列のできる店として、5階にある『スパゲッティー専科はらっぱ』と1階にある『福ベーグル』の存在が光る。幅広い世代の集客を牽引する飲食店は、料理や商品のクオリティはもちろん、話題性や独自性の高い店舗を厳選し、駅利用者、観光客のみならず市民の食生活にも満足を提供している。

高崎アリーナに ビッグイベントが目白押し



高崎アリーナ

(高崎市新体育館)

4月23日(日)

●2017新体操世界選手権代表選考会

5月13日(土)・14日(日)

●チアリーディングアジアインターナショナルオープン

6月9日(金)~11日(日)

●FIVB男子バレーボールワールドリーグ2017

6月24日(土)・25日(日)

●全日本体操競技種目別選手権大会



4月1日にオープンしたスポーツの新たな殿堂「高崎アリーナ」。施設内容の充実と、高崎駅より徒歩圏内という好立地で、全国規模、世界レベルの大会が続々と開催される。

●チアリーディングアジアインターナショナルオープン
アクロバティックな技や豊かな表現力で観客を魅了するスポーツとして人気が上昇中。アジア各国・地域のチームがNo.1の座を競う。華麗な演技にご注目!

●FIVB男子バレーボールワールドリーグ2017
男子バレーボールの世界トップチームが参加するリーグ戦。高崎アリーナでは、グループ2の日本、スロベニア、韓国、トルコの4カ国が出場する。

2020年の東京五輪に向けて、中垣内新監督率いる全日本男子チームの国内デビュー戦。

●全日本体操競技種目別選手権大会
昨年のリオ五輪の金メダル獲得に沸いた体操男子団体。そして個人総合優勝に輝いた内村航平選手。世界一美しい体操」と評され、日本体操界初の「プロ」としての活躍がますます楽しみな内村選手をはじめ、日本屈指の選手たちの妙技を間近に見られるまたとないチャンス。

●お問い合わせ：高崎アリーナ TEL.027-329-5447

EVENT

EVENT



吉井どろんこ祭り 2017

6月4日(日)

●吉井町多比良(県道41号神田吉井線沿い)

●参加料：無料

●申込：不要

●参加条件：写真を撮影されてもいい人

●仮設シャワー完備!

老若男女が泥にまみれて遊び倒す!



田植え前の水を張った田んぼの中で泥まみれになって遊べる様々なイベント盛りだくさんの吉井どろんこ祭り。この祭りは吉井地域の名物行事として2003年から開催されており、昨年は県内外から約6500人の参加があった。

親子手つなぎ競争、おしり相撲、しろかき走など、多数のイベントの中でも目玉なのは『ウナギのつかみ取り』。捕まえたウナギはそのまま持ち帰れるというから、大人も子どもも一緒になって、生きのいいウナギを追いかける。他にもステージでは地元有志によるかかし踊りなどの披露、日本一のすいとんを決めるどろんこすいとんグランプリなどイベントが目白押しとなっている。また、同時にどろんこ祭りの写真コンテストも行われており、毎年多数の作品が応募されている。

●お問い合わせ：高崎市吉井支所地域振興課 TEL.027-387-3111

高崎バル



高崎バル 2017

6月5日(月)～11日(日)

- 中心市街地(まちなか)
- チケットは5枚綴り
- チケット販売所: ラジオ高崎前広場、チケットマークの付いた店舗
- 前売り券: 3,000円(当日券: 3,500円)

まちなかでいろいろな味が楽しめる 1週間

高崎バルののぼり旗が目印の参加店では、「ワンフード＋ワンドリンク」のバルメニューがチケット1枚(500円)または2枚で提供される。複数の店舗の食べ歩きが最大の魅力。それぞれのお店で魅力たっぷりのメニューが用意されているので、どのお店に行くか悩むことろ。

2010年に始まった高崎バルは今回で12回目を迎える。これまで年2回の開催だったが、今年は年に1回の開催に変え、期間を1週間と延長させた。1週間を通じて開催することにより、新たな顧客を確保することが狙い。

期間終了後でもあとバル参加店舗ではチケットを金券として利用できるの、予定が合わなくても期間中に参加できなくても安心! また、チケット購入者へのプレゼント抽選会、女性特典の実施など魅力満載となっている。

高崎のまちなかで自分好みの味を見つけてみてはいかがでしょうか?

● お問い合わせ: 高崎バル実行委員会事務局(高崎商工会議所内) TEL.027-361-5171

高崎に来たならご賞味あれ! 名物・焼きまんじゅう

焼きまんじゅう



高崎のソウルフード「焼きまんじゅう」。蒸したパンのよくな軽い生地焼き色を付け、特性の味噌ダレを塗り込んで香ばしく焼き上げる。独特の「あまじよっぱい」味が特徴的な焼きまんじゅうは、どこか郷愁をそそる味であり、長年にわたって地元住人を中心に愛されてきた。近年ではメディアに取り上げられる機会も増え、その知名度も急上昇。高崎に立ち寄ったなら是非ともご賞味いただきたい名物だ。

お土産用



● 甘味処 茶々
住所: 高崎市鶴見町 5-1
電話: 027-322-2070
営業時間: 10:30～17:30(売り切れ閉店)
休業日: 月・火曜日
焼きまんじゅう1串(4個): 160円

高崎駅西口から徒歩数分の場所にある「甘味処 茶々」。焼きまんじゅうの老舗として親しまれており、TVや雑誌にも引っ張りだこの人気店。3代目店主・須藤登志江さんの明るく気さくな性格も相まって、連日、多くのファンが足を運ぶ。

「焼きまんじゅうは「田舎のスイーツ」と語る登志江さん。焼きまんじゅうを美味しく食べるには、「パクッ」とひと口で豪快に食べるのがベスト! フワフワ生地の食感と、味噌ダレの風味が融合するたまらない逸品。

焼きまんじゅうの初心者にも笑顔で応対し、その歴史や特徴を丁寧に説明してくれる登志江さん。お腹も心も満たしてくれる、おみさんの心遣いまで堪能できるお店。



● 群馬いろは
住所: 高崎市八島町 222 番地 (JR 高崎駅東口) イーサイト高崎 2F
電話: 027-321-0067
営業時間: 9:00～21:00(日曜・祝日は9:00～20:00)
休業日: なし

高崎駅構内のイーサイト高崎にて県内の銘品を取り扱う「群馬いろは」でも、焼きまんじゅうは人気の品。お土産用の焼きまんじゅうや関連商品も充実し、観光客やビジネスマンに喜ばれている。電子レンジやオーブントースターを使った軽調理で焼きまんじゅうが楽しめるという手軽さもあって、つつい手が伸びてしまう一品。加速する焼きまんじゅうブーム、全国に波及する日も近い!?



再発見

Takasaki's
Sightseeing
Rediscovery

かなわぬ恋の歌枕／佐野の舟橋

清少納言や藤原定家も選んだ情趣

● 清少納言が選んだ恋橋

「春はあけぼの」で有名な清少納言の「枕草子」。枕草子には清少納言がおもしろいと感じた「ものづくし」が綴られており、



中世文学の舞台となった佐野。木の橋が景観に溶けこむ

言わば、清少納言が選んだベストランキングである。この枕草子の中に、高崎市内の地名が出てくる。

第65段の「橋は」のくだりに18の橋の名が書かれているのだが、その中に「佐野の舟橋」が見つかる。佐野の舟橋は、高崎市を流れる烏川に架けられていた橋で、舟をつないで板を渡し、橋として使われていた。

なぜ、清少納言は、佐野の舟橋を選んだのだろうか。

ゆらゆらと揺れる舟橋は渡っていくのに勇気が必要で、川の流れに翻弄される有様は人生を象徴し、歌人、旅人の心をとらえた。急流に流されてしまう舟橋は、引き裂かれる恋の舞台にぴったりだったのである。

高崎には、万葉集東歌に歌

われている場所がたくさんあるが、その一つ、「上毛野佐野の舟橋取り放し親はさくれど吾はさかるがへ」は平安歌人にインパクトを与え、佐野の舟橋は、恋の歌枕として有名になった。平安時代には、宮中の清少納言が知るほどで、上野国(群馬県)に来たら、佐野の舟橋に行ってみようというような観光名所になっていたかもしれない。藤原定家や西行、和泉式部といった歌人も佐野の舟橋を歌い、能の「鉢木」「舟橋」の舞台にもなっている。

● ロミオとジュリエットのような
悲恋伝説

万葉集東歌「上毛野佐野の舟橋取り放し親はさくれど吾はさかるがへ」は、交際を親に反対される恋人の心を歌ったものだが、この東歌をモチーフに、佐野の舟橋は、ロミオとジュリエットのような悲恋物語の舞台となる。

烏川の両岸に暮らす恋人が、夜になると人目を忍んで佐野の舟橋を渡ってデートを重ねていた。ある夜、二人の恋を邪魔し

ようと舟橋の中央の橋板がはずされ、それに気付かず二人は川に落ち、翌朝、抱き合って死んでいる二人の遺体が見つかった。この伝説をもとに、世阿弥は、恋の情念に苦しむ男女の亡霊を山伏が鎮める能楽「舟橋」を書いたといふ。

現在の高崎市役所のあたりから烏川に沿って、一筋の古道が伝えられている。この道は「鎌倉街道」と呼ばれ、市街地から南東に数キロ口だと、佐野の舟橋があったあたりに出る。佐野の舟橋は、「佐野の渡し」とも言われ、高崎駅から上信電鉄に乗れ、2つ目に「佐野のわたし駅」が設けられている。同駅の周辺に船橋の面影を持つ木橋「佐野橋」や関連する史跡がある。佐野の舟橋の正確な位置はわからないが、このあたりの烏川に架けられていたと想像される。

高崎には「世界の記憶」登録をめざす奈良時代の「上野三碑」があり、そこにも佐野の地名が刻まれている。高崎は古代東国の中心地であり、歴史ロマンがあふれている。